

マーガレット「ピンク・ファッション」の開花特性に関する研究
(第1報)日長が開花反応に及ぼす影響

祖一範夫・十河土志夫・佐藤義機

日長条件がマーガレット「ピンク・ファッション」の開花に及ぼす影響について検討した。

1. 短日処理は開花時の節数を減少させたが、発蕾後以降も短日処理を継続すれば、花芽がブラスチングを起こすことがわかった。
2. 長日処理は開花時の節数の増加と発蕾後の花芽の発育を促進した。
3. 「ピンク・ファッション」の開花を早めるためには、3°Cで4週間冷蔵した苗を用い、花芽形成までは短日条件で栽培し、花芽形成以降は長日条件で栽培するのがよい。
4. 以上の結果から、「ピンク・ファッション」は短一長日型に似た開花特性を示すことがわかった。